

## 謝辞

末筆ながら、久米島産の貴重な標本をご恵与くださった長野宏紀・金子直樹両氏にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

## 引用文献

- 秋山黄洋, 1990. 琉球列島のウバタマムシ類新産地. 月刊むし, (238) : 18-19.
- 秋山黄洋, 1993. タマムシ科5種の分布記録. 月刊むし, (274) : 8.
- 秋山黄洋・大桃定洋, 2000. 世界のタマムシ大図鑑. 341 pp. むし社, 東京.
- Hattori, T., 2014. New species of the genus *Toxoscelus* (Insecta, Coleoptera, Buprestidae) from Taiwan and the Ryukyu Islands. *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo, Series A, Zoology, Supplement*, 8: 1-35.
- 林 信一, 2006. 久米島でオオシマルリタマムシを採集. 月刊むし, (430) : 14.
- 檜木忠志, 2018. 八重山諸島の黒島・小浜島で採集したタマムシ. 月刊むし, (568) : 55.
- 稲田悟司, 1999. 久米島のエサキクロタマムシ追加記録. 月刊むし, (346) : 41.
- 稲田悟司, 2016. 伊平屋島・粟国島(沖縄県)におけるタマムシ類の記録. 月刊むし, (550) : 8.
- 稲田悟司, 2018. 2018年, 伊平屋島における甲虫類の記録. 月刊むし, (574) : 44-45.
- 稲田悟司・山田 航・福富宏和, 2016. 慶良間諸島のタマムシ. 月刊むし, (537) : 4-9.
- 市川裕二, 1997. 久米島でエサキクロタマムシの死骸を拾得. 月刊むし, (311) : 36.
- 小林信之, 1983. 久米島におけるエサキクロタマムシの採集例. 月刊むし, (154) : 3.
- 小林信之, 1987. 慶良間諸島座間味島のタマムシ2種. 月刊むし, (202) : 17-18.
- 小林信之, 1988. 久米島におけるサツマウバタマムシの記録. 月刊むし, (206) : 36.
- 小林信之, 1996. 13年ぶりに採集された沖縄諸島久米島のエサキクロタマムシ. 月刊むし, (308) : 13.

- Kurosawa, Y., 1954. Buprestid-fauna of Eastern Asia, (Coleoptera) (1). *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo*, 1 (1) : 29-39.
- Kurosawa, Y., 1974. A revision of the East Asian species of the genus *Chalcophora* (Coleoptera, Buprestidae), with special reference to their distribution and difference. *Memoires of the National Science Museum, Tokyo*, (7) : 169-192.
- 楠井善久, 2015. 沖縄県慶良間諸島におけるタマムシ2種の記録. さやばねニューシリーズ, (15) : 6-7.
- 大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑. 206 pp. むし社, 東京.
- 定木良介・久保田達也, 2016. 久米島におけるオオシマルリタマムシの記録. 月刊むし, (539) : 58.
- 酒井 舜, 2016. 伊平屋島および野甫島におけるタマムシ科甲虫4種の記録. 月刊むし, (550) : 9.
- 酒井 舜, 2017. 久米島におけるミドリナカボソタマムシの記録. 月刊むし, (562) : 27.
- 酒井 舜, 2018. 宮古列島多良間島におけるオキナワナガタマムシの記録. 月刊むし, (571) : 51.
- 佐藤文保, 1995. 久米島の小動物. pp. 26-64. 沖縄県立博物館(編), 久米島総合調査報告書, 自然・歴史・民俗・考古・美術工芸・建築. 364 pp. 沖縄県立博物館, 那覇.
- 惣慶裕幸・土川浩司, 2005. 宮古列島で採集したタマムシとカミキリムシ. 月刊むし, (407) : 26-27.
- 瑤寺 裕・吉武 裕, 2018. オオダングラチビタマムシの加計呂麻島からの記録. さやばねニューシリーズ, (29) : 58.
- Tôyama, M., 1985. The buprestid beetles of the subfamily Agrilinae from Japan (Coleoptera, Buprestidae). *Elytra, Tokyo*, 13: 19-47.
- 里見大輔, 2018. エサキクロタマムシの沖縄島における再発見および慶良間諸島における記録. さやばねニューシリーズ, (30) : 29-30.
- 高良鉄夫・東 清二, 1974. 久米島の昆虫相. pp. 71-88. 沖縄自然研究会(編), 久米島県立自然公園候補地学術調査報告, 沖縄自然研究会調査報告, (1). 110 pp. 沖縄自然研究会, 那覇.

(2019年1月5日受領, 2019年2月20日受理)

## 【短報】西表島におけるタマムシ科甲虫3種の記録

西表島は八重山諸島に属し, 同諸島で最大の面積(約289 km<sup>2</sup>)を誇る自然豊かな島である。これまでに西表島から記録されたタマムシ科甲虫は30種(大桃・福富, 2013; Saiki *et al.*, 2018)であるが, 同島の西約30 kmにある石垣島(面積約222 km<sup>2</sup>)の37種に比べると少なく, 調査の余地が残されている状況にある。

筆者らは2015年10月と2017年5月にそれぞれ西表島を訪れ, 昆虫相の調査を行った。その結果, 同島初記録となるタマムシ科甲虫3種を採集したのでここに報告する。なお, 採集地名は沖縄県八重山郡竹富町がすべて共通のため省略し, 採集者名は以下のように略記する: 瑤寺裕(YT); 福富宏和(HF)。得られた標本は採集者がそれぞれ保管している。

1. セキナガタマムシ沖縄・八重山亜種 *Agrilus sekii yaeyamanus* Ohmomo, 2004

検視標本: 3♂2♀, 南風見南風見田の浜, 20. X. 2015, HF; 1 ex., 同所, 28. V. 2017, YT (図1)。

本種はこれまでに奄美大島および沖縄島, 石垣島から記録されていたが, 今回の調査により, 西表島における分布が新たに確認された。沖縄島と石垣島の個体群は, 上翅が赤銅色で黄金色短毛に覆われることから沖縄・八重山亜種とされる(Ohmomo, 2004; 大桃・福富, 2013)。寄主植物であるクワノハエノキ(アサ科)のスウィーピングによって得られた。本種成虫の10月の採集例は, 筆者らの知る限り他に知られておらず, 少なくとも西表島では年に2回発生していると考えられる。

2. デグチナガタマムシ *Agrilus deguchii* Tôyama, 1985

検視標本: 1 ex., 南風見南風見田の浜, 28. V.

2017, YT (図2).

本種はこれまでにトカラ中之島および奄美大島、沖縄島、久米島、宮古島、石垣島から記録されていた(服部, 2000; 大桃・福富, 2013)が、今回の調査により、西表島における分布が新たに確認された。前種同様にクワノハエノキを寄主植物とすることが知られる(大桃・福富, 2013)。クワノハエノキのスウィーピングによって前種と共に得られた。

### 3. イリエナガタマムシ *Agrilus iriei* Tôyama, 1985

検視標本: 1 ex., 西表祖納, 30. V. 2017, YT (図3).

石垣島於茂登岳から採集された個体を基に, Tôyama (1985) によって記載された本種は, 寄主植物が判明していない珍しい種である。これまでの分布記録は石垣島だけであったが(大桃・福富, 2013), 今回の調査により, 西表島における分布が新たに確認された。開けた環境下における下草のスウィーピングによって偶然得られた。

末筆ながら, トカラ中之島におけるタマムシの分布についてご教示いただいた服部宇春氏に感謝する。また, 筆者の一人瑤寺は, 琉球大学熱帯生物圏研究センター西表研究施設に宿泊させていただいたので, 親切に対応してくださった同センターの皆様がこの場をお借りして厚く御礼申し上げる。

### 引用文献

- 服部宇春, 2000. トカラ中之島からのデグチナガタマムシの記録. 月刊むし, (358): 8.  
 Ohmomo, S., 2004. Buprestid beetles (Coleoptera: Buprestidae) new to Japanese fauna (part 2). The Entomological Review of Japan, Osaka, 59: 135-143.  
 大桃定洋・福富宏和, 2013. 日本産タマムシ大図鑑. 206 pp.

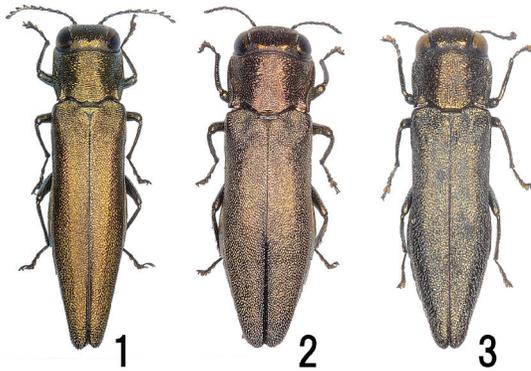


図1-3. 西表島産タマムシ類3種. 1, セキナガタマムシ沖繩・八重山亜種; 2, デグチナガタマムシ; 3, イリエナガタマムシ.

むし社, 東京.

- Saiki, R., Y. Tamadera, K. Watanabe & H. Fukutomi, 2018. New distributional records of *Aphanisticus antennatus* Saunders (Coleoptera, Buprestidae) from Iriomote-jima Island, the Ryukyus, Japan. Elytra, Tokyo (n. ser.), 8: 173-174.  
 Tôyama, M., 1985. The buprestid beetles of the subfamily Agrilinae from Japan (Coleoptera, Buprestidae). Elytra, Tokyo, 13: 19-47.

(瑤寺 裕 243-0034 厚木市船子 1737  
 東京農業大学昆虫学研究室)  
 (福富宏和 920-2113 白山市八幡町戊 3  
 石川県ふれあい昆虫館)

### 【短報】ショウリョウヒゲブトハネカクシの京都府からの記録

ショウリョウヒゲブトハネカクシ *Creochara brevipennis* (Bernhauer, 1903) はハネカクシ科ヒゲブトハネカクシ亜科に属し, 東南アジアと日本列島を含む東アジアに生息し, 日本列島からは本州西部(紀伊半島), 四国, 九州, 対馬, 屋久島, 奄美大島, 沖縄島から記録されている(Yamamoto, 2009)。また, 最近では岡山県総社市からの記録がある(千田, 2018)。

筆者は京都府舞鶴市において, 低山地の白骨化した哺乳動物の死骸の下から採集したハネカクシを伊藤建夫氏に同定していただいた結果, 本種であることが判明したので分布の記録として報告する。

1 ex., 京都府舞鶴市千歳・国見山, 26. IV. 2015, 筆者採集, 伊藤建夫氏保管(図1)

本種は「京都府レッドデータブック 2015 別冊京都府自然環境目録」に記載がなく, 他にも京都府からの本種の文献記録は見当たらないので京都府初記録と思われる。

末筆ながら, 本種の同定および標本の撮影ならびに文献の入手についてお世話になった伊藤建夫氏に心からお礼申し上げます。

### 引用文献

- 京都府自然環境保全課, 2015. 京都府レッドデータブック 2015 別冊京都府自然環境目録. 415 pp.  
 千田喜博, 2018. 中国地方におけるショウリョウヒゲブトハネカクシの記録. さやばねニューシリーズ, (30): 63.  
 Yamamoto, S., 2009. *Creochara brevipennis* (Coleoptera, Staphulinidae, Aleocharinae) new to Tsushima Is., Southwest Japan. Japanese Journal of systematic Entomology, 15: 307-308.